

アミノインデックス「がんリスクスクリーニング」について

アミノインデックス「がんスクリーニング」は、これまでのがん検診などとは全く違う、がんになる危険度を判断する検査法です。

「数種類のがんの危険度が採決だけでわかる」・・・これだけ聞くと夢のような話ですが、がんという病気にはまだまだ解決すべき不明な点が多々あります。

以下にアミノインデックスに関する情報と私なりの意見を書いてみました。

本検査は自費の検査です。検査を希望される方は、以下の説明をお読みにになり、検査内容をご理解・了解のうえで検査を受けていただければと思います。

日本人の死因の第1位は「がん」です。そして、最近の予測では2人に1人はがんになると言われています。したがって、「がんを予防する」だけでなく、「がんを見つける」ということも非常に重要になってきています。

そのためには、各種のがん検診が重要なことは言うまでもありませんが、がん検診以外の手段の一つとしてアミノインデックスがあり、当院でも検査可能です。

1. アミノインデックスとは？

この検査自体は、味の素株式会社が開発したものです。血液中のアミノ酸（20種類程度）を測定して、がんの患者さんのアミノ酸のバランス（パターン）を調べました。それぞれのがんでパターンに特徴があることがわかりました。それらのパターンに近ければ、その病気のリスクが高い（その病気にかかっているかもしれない）という考え方で開発されたものです。詳細は下記のアドレスでもごらんください。

- ① www.aa-pri.jp/c00/
- ② www.ajinomoto.co.jp/products/aminoindex.html

2. がんスクリーニングとは？

スクリーニングとは、「ふるいにかける、選別する」という意味です。医学的には、症状がない人に病気があるかどうかを調べることをスクリーニングと言います。健康診断、がん検診などはそのために行われています。日本のがん検診は、肺、胃、大腸、前立腺、乳腺、子宮などのがんで行われています。検診法の有効性、経済効率など様々な面から、世界各国で検討されています。残念ですが、すべての面で完全なスクリーニング法は未だに開発されていません。

3. アミノインデックスでわかることは？

男性は肺がん、胃がん、大腸がん、膵がん、前立腺がんの5種類。女性は肺がん、胃がん、大腸がん、膵がん、乳がん、子宮・卵巣がんの6種類7臓器について検査できます。

アミノインデックスは、そのがんになる可能性（リスク）をA,B,Cの3ランクに分類しています。

ランクCほどがんの危険度が高いと考えられます。しかし、あくまでも危険度であって実際にがんがあるかどうかは、専門的な検査をしないとわかりません。（また、逆にランクAだからといって、100%安心だという保証もありません）

4. アミノインデックスの精度は？

アミノインデックスでは、高血圧、糖尿病、脂質異常症、ぜんそく、慢性閉塞性肺疾患、前立腺肥大、子宮筋腫などでも検査陽性になることがあります。

疾患によって差がありますが、これらの疾患もランクCになる可能性が3~50%あります。

5. アミノインデックスは従来のがん検診と比べてどうなのですか？

基本的にアミノインデックスを従来のがん検診と同列に扱うことはできません。項目2で完全なスクリーニング法はないと書きましたが、それでも現在日本で行われているがん検診は、それなりの精度もあり、検診ではじめてがんが見つかった患者さんもいます。

それに比べてアミノインデックスはその実績がまだ多くはありません。つまり、良いスクリーニング法かどうかはこれから検討されるべきものです。

通常のがん検診と比べてアミノインデックスの優れている点は、

- ① 一度の採血で複数のがんを同時に検査できること
- ② 採血検査なので簡便であること

の2点です。

現時点では一般のがん検診を無視して、アミノインデックスの結果だけに頼ることは危険です。眉つば物のいい加減なものでは決してありませんが、あくまでがん検診の一つの補助手段という位置付けであると私は考えています。

以上が、アミノインデックスに対する情報と私の考えです。
ご参考にしていただければと存じます。